

会 議 要 旨

会議名	館山市社会教育委員会議
開催日	平成27年2月4日(水) 午前10時00分から
開催場所	館山市立図書館 集会室
出席者	社会教育委員 9名 教育長、事務局 8名
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>議題 1. 平成26年度生涯学習に係る事業の実施について</p> <p>2. 社会教育に関わる意見交換</p> <p>質疑応答・意見等</p> <p>1. 博物館・地域別入館者数の割合で市内の入館者割合が少ないことへの対応について</p> <p>【博物館から】</p> <ul style="list-style-type: none">● 地域を対象とした展示等を実施しているため、市内の方に来てもらうことが大切だが、館山城(分館)が観光施設として機能しているため、観光客が入館者の6.7割を占めることで市民の割合が減っている。しかしながら、他市同規模の博物館と比較しても、市民来館者数は少なくない。今後も観光客は、お城だけでなく博物館へ来てもらう工夫、市民の来館を促すための市民向けイベント等考えていきたい。また、若年層の来館も少ないため、博物館のイメージを変えられるよう工夫していきたい。 <p>2. スポーツ課・若潮マラソンの参加者が多くなり盛り上がりを見せているが、制限時間後半になると沿道の応援が減ってしまうことについて</p> <p>【スポーツ課から】</p> <ul style="list-style-type: none">● ホスピタリティ向上のため、市民等のスポーツボランティアを更に増やしていきたい。特に海岸道路は交通規制を実施中で、途中から応援にコースへ近付くことが難しく、規制の時間も長いこと、根本的な解決策はないが、魅力ある大会になるよう努めていきたい。 <p>3. 安房地域の高校生へのアンケート結果にある半数以上の高校生が将来も地元に住みたいと考えていることについて、地元への愛着心、地元への定住につながる“地域学習”への取り組み状況について</p>

【高山委員・平島委員から】

- 小学校では、教材はないが、総合的な学習の中で自然や、地域人材を活用し、それぞれの地域にちなんだ地域学習（米作り、梨作り等）を行っている。
- 教育問題研究会により歴史副読本さとみ物語を使用した指導案が作成された。今後市内小中学校で「さとみ史」についての授業を展開していく。

【大西委員から】

- 南総祭礼研究会の活動を行っているが、お祭りは地域を知る良い機会でもあるため、学校活動にお祭りを取り入れ団体メンバーも利用して欲しい。

【生涯学習課から】

- 放課後子ども教室、家庭教育学級、まちなか塾等、遊びながら地域を学ぶ事業がある。地域との連携が少しずつできている中で、地域が学校へ積極的に入って欲しい。

4. 生涯学習課・市子連の休会地区が増えているが対応について

【生涯学習課から】

- 少子化により対象児童が少ない中子ども会を増やすことは難しい。子ども会以外に様々なプログラムがあり学ぶ機会が増えているが、子ども会の存在意義があるため、今後は同様の問題を抱えている青少年相談員などとも連携していきたい。